

第3回 本川流域水害対策協議会 議事概要

1 日 時 令和5年3月16日(水) 10時30分～12時00分

2 場 所 竹原市役所 委員会室
(竹原市中央五丁目1番35号)

3 出席者

役 職	氏 名	備考
広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授	内田 龍彦	座長
広島工業大学 工学部 環境土木工学科 准教授	今川 朱美	
自治会長	土田 勇	
竹原市長	今榮 敏彦	
広島県 農林水産局長	大濱 清	
広島県 土木建築局長	上田 隆博	会長

4 議事 本川流域水害対策計画(案)について

5 主な意見

- 河川改修や内水氾濫対策等の氾濫を防ぐ・減らす対策としては、この内容の事業を推進してもらいたい。雨水貯留施設については、平常時の活用について引き続き検討を進めてもらいたい。
- ため池や水田、森林の治水利用については、地域の流域治水への機運を高める必要があり、管理者や住民等が一体となって取組を進めてもらいたい。
- 森林保全に関しては、人材育成や竹原市ならではの取組等を行うことで、流域全体の保水力の向上を促進してほしい。
- 流域内の住民等による各戸貯留は、本川への洪水調節という観点からいえば効果は小さいかもしれないが、治水に対する意識醸成、リスクコミュニケーション等の観点でも重要であり、取組を進めてもらいたい。
- 水害リスクを考慮したまちづくりについては、本計画に示す都市浸水想定を考慮し、今後見直しを予定している立地適正化計画における居住誘導区域の設定等を検討してもらいたい。

6 決定事項

- 本川流域水害対策計画案については、本協議会で取りまとめた。今後、国の同意を得て策定する。
- 策定後においても、必要に応じて計画の変更を行うこととする。